



## 東方経済フォーラムニュース

2016年7月4日、タス通信社

### 沿海地方はEEFにより1000億ルーブル以上の投資協定を期待している

タス通信社と新聞社「人民日報」が組織したロシア・中国メディアツアー参加者を前にした発言でウラジーミル・ミクルシェフスキー氏がこのような声明を行っている。この様に第二回EEFで調印される投資協定の金額は昨年度のレベル以上でなければならない。<http://tass.ru/ekonomika/3427275>

2016年7月4日、ペトロパブロフスク・イブニングニュース

### 東方経済フォーラムで自社の投資プロジェクトのプレゼンテーションを行う用意がある企業家の選抜がカムチャツカで開始される

「選抜に参加するためにはEEF公式サイトアンケートに記入し、追加資料を送付する必要があります。外国投資家は英語による書類を準備する必要があります」とカムチャツカ地方投資企業活動エージェンシーが語った。<http://www.vestipk.ru/?id=33568>

2016年6月30日、www.primgazeta.ru

### EEFへの投資プロジェクト申請書の受理が7月10日まで延長される

極東開発省のデータでは、現時点で46件の投資プロジェクト申請書が提出され、その内の半分以上がすでに実現段階にある。プロジェクトの大部分は漁業、ロジスティックス、農業、非鉄冶金及びツーリズムの分野に属する。プロジェクト投資総額は1・1兆ルーブルである。投資必要総額は3760億ルーブルである。プロジェクトの大多数が沿海地方とハバロフスク地方の地域に実現される計画である。

<http://primgazeta.ru/news/accepting-applications-investment-east-economic-forum-have-extended>

2016年6月30日、www.forumvostok.ru

## 人材育成をEEFで討議する予定

EEFのテーマの一つに人材育成がある。フォーラムではパネルディスカッション「投資家への人材資源確保」が計画された。

極東では労働力不足に遭遇している。極東人材育成局のワレンチン・チマコフ所長の意見では、地域の経済発展は一連の分野での大幅な雇用成長を前提とする。2021年までに優先発展区域及びウラジオストク自由港の新企業では4万7千人以上の雇用創出が行われる。優先発展区域とウラジオストク自由港で作業する組織に熟練労働者を確保することは極東の発展にとって重要な課題である。<http://bit.ly/29b2l67>

2016年6月28日、新浪财经

## ロシアと中国がEEFで2件のプロジェクトに調印する計画であることをユーリ・トルトネフ氏が発表

中国情報通信社「新浪（シナ）」はユーリ・トルトネフ氏の声明を引用してロシア極東の2件のプロジェクト開始の協定調印を予告した。協定書は東方経済フォーラムの期間中に調印されるようになる。<http://finance.sina.com.cn/roll/2016-06-28/doc-ifxtmses1339530.shtml>

2016年6月28日、www.forumvostok.ru

## 極東の国立公園と自然保護区がEEFで展示される

セルゲイ・ドンスコイ・ロシア連邦天然資源相は「既存のものも、将来性あるものも込めて殆ど全ての大型天然資源採取プロジェクトが展示されます。また特別地区であり、極東に位置する国立公園、自然保護区も展示されます。これらユニークな場所についてなるだけ多くのツーリストに知ってもらうことを期待します」と表明した。

フォーラム期間中にロシア連邦天然資源省はまた、環境ツーリズムプロジェクトも提示する。「極東の投資潜在能力、経済はユニークな自然の潜在能力に基づきます。地域の天然資源によりこそ経済的目的と環境保護目的がここで統合されます」とドンスコイ相が語った。<http://bit.ly/29y2Tm1>

2016年6月28日、www.forumvostok.ru

## EEFは極東のツーリズム発展を手助けする

「極東のツーリズムは経済発展、雇用創出及び新インフラストラクチャー創設の主要ジェネレーターの一つです。ツーリズムにとって極東はリソースであり、極東にとっては経済を回転させる投資です」と、ロシア連邦観光局のセルゲイ・コルネーエフ副所長は考えている。

コルネーエフ氏の意見ではフォーラムはツーリズムを支援しなければならず、新ビジネスコンタクトのための重要な場所となる。フォーラム期間中にツーリズムは重要なテーマの一つとなる。<http://bit.ly/297W0ql>

## 極東におけつ国家政策

2016年7月1日、インタファックス

### ロシアプロジェクトに対する日本と中国のビジネスの関心は増大している

日本と中国はウラジオストクの東方経済フォーラムに決定を行う実際のプレーヤーを含む代表団を送る計画であることを、ユーリ・トルトネフ極東連邦管区大統領全権代表が語った。

「日間の状況では動向の急激な変化が指摘される。日本ビジネスの（ロシアプロジェクトに対する）関心は大幅に増大している」と福首相が語った。<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/news.asp?id=740633&sec=1671>

2016年6月30日、www.minvostokrazvitia.ru

### ユーリ・トルトネフ氏：自由港発展での主役は知事でなければならない

極東・バイカル地域の投資プロジェクト実現小委員会会議でユーリ・トルトネフ氏は出席した極東地域の知事達に自由港管理作業を組織することを委託した。

「極東発展省と私は自らウラジオストク自由港監督委員会を運営する。テンポを失わないように早急に行い、各地域の管理システムを如何に組織するかを詳細に考慮する必要があります」と、トルトネフ氏が指摘した。大統領全権代表の意見では自由港発展での主役は知事でなければならない。「この責任に対して準備するようお願いいたします。私はこちらに来て、究明し、一緒に作業します。体制が効果的であるためには毎日行う必要があります。地域発展の負担は増大しています。私は動向を注意深く監視しています」と強調した。

[http://minvostokrazvitia.ru/press-center/news\\_minvostok/?ELEMENT\\_ID=4409](http://minvostokrazvitia.ru/press-center/news_minvostok/?ELEMENT_ID=4409)

2016年6月30日、www.minvostokrazvitia.ru

### 漁業分野発展のための出資割合に上院議員が賛成した

連邦会議は法律「漁業及び水生生物資源について」の変更に関する法案と水生生物資源の採取（漁獲）割当配分の改善に関するロシア連邦の個別法律を支持した。投票の結果、法律は大統領の署名に送られた。

法律に従って分野発展新メカニズムである水生生物資源採取（漁獲）割当が導入される。漁獲権取得時に投資家はロシア船舶の購入又は水産加工設備を創設する義務を負う。この様に割当導入は船隊更新及び沿岸インフラストラクチャーの近代化を促進する。

法案ではまた利用者の割当シェア固定期間を10年から15年まで延長することが予定される。[http://minvostokrazvitia.ru/press-center/news\\_minvostok/?ELEMENT\\_ID=4408](http://minvostokrazvitia.ru/press-center/news_minvostok/?ELEMENT_ID=4408)

2016年6月29日、「極東資本」

## 極東の投資家用の天然資源採取税の特恵は7月1日から適用開始される

極東連邦管区地域の生産に5000万ルーブル以上投資した極東の投資家用の特恵税法は2016年7月1日から有効となる。この日付から天然資源採取税の特恵を利用することができる。[http://dvkapital.ru/regionnow/dfo\\_29.06.2016\\_8435\\_lgoty-po-ndpi-dlja-investorov-na-dalnem-vostoke-nachnut-primenjat-s-1-ijulja.html](http://dvkapital.ru/regionnow/dfo_29.06.2016_8435_lgoty-po-ndpi-dlja-investorov-na-dalnem-vostoke-nachnut-primenjat-s-1-ijulja.html)

2016年6月27日、タス通信社

## ユーリ・トルトネフ氏：極東を去る必要はないことを人々は理解する必要がある

ユーリ・トルトネフ氏のインタビュー：日本と中国のEEFへの参加予定、ロシア・中国ビジネス協力と極東開発

「極東では現在、雇用創出が約束される200以上の企業の国家支援による建設が進んでいます。極東を去る必要はないことを人々は理解する必要があります。このような転機が今年に発生しており、ここを去る人々は益々減り、10分の1の減少となっています」とトルトネフ氏が語った。<http://tass.ru/opinions/interviews/3403266>

## 極東の経済

2016年7月4日、リアノーボスチ通信

### 「ルスベトペトロ」作業協定批准法にプーチンが署名

合併会社「ルスベトペトロ」枠でのロシア領域の地質調査、石油ガス採取分野でのロシア・ベトナム両内閣間の更なる協力協定批准に関する連邦法にプーチン・ロシア大統領が署名した。<http://ria.ru/economy/20160703/1457370893.html#ixzz4DQYI8bMM>

2016年7月1日、リアノーボスチ通信

### 極東開発基金が3件の新プロジェクト用に46億ルーブルを割り当てへ

ロシア連邦政の極東投資プロジェクト実現府小委員会が極東・バイカル地域開発基金からの融資用に追加の投資プロジェクト3件を選抜したことをユーリ・トルトネフ氏が報じた。

資金からの優先的融資を受けるのはハバロフスク地方のロシア郵便のロジスティックス・ハブの金額57億ルーブル（基金投資は18億ルーブル）、「ベロゴルスク」優先発展区域の大豆高度精製工場第2期及び第3期建設用に58億ルーブル（基金投資は21・4億ルーブル）及び「オゼルニィ」採鉱・選鉱コンビナート：輸送インフラストラクチャー建設、総額729億ルーブル（基金投資は6・3億ルーブル）である。但し、「オゼルニィ」に関しては、決定は延期されている。「プロジェクトではバイカル湖から近い鉛・亜鉛鉱山の開発が予定されます。これがバイカル湖保護区に位置するかどうかを詳細にチェックする必要があります」とトルトネフ氏が語った。もしリスクが発見されない場合には、「オゼルニィ」は融資を受けるが、もしリスクが発見された場合、プロジェクトは却下される。<http://ria.ru/economy/20160630/1455099205.html#ixzz4D94kfgJq>

2016年6月30日、www.interfax-russia.ru

## 自由港体制の発展後に極東の港に外国資本が到来することを東方開発省は期待している

連邦議会は優先的社會經濟發展区域連邦法及びウラジオストク自由港連邦法の修正を採択した。

修正によると自由港体制が誕生するのはハバロフスク地方（ワニノ地方自治体地区）、サハリン州（コルサコフ市地区）、カムチャツカ地方（ペトロパブロフスク・カムチャツキー）、チュコト自治管区（ペヴェク）及び沿海地方（ラゾ地方自治体地区）である。<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/news.asp?id=740302&sec=1679>

2016年6月30日、www.interfax-russia.ru

## 自由港体制によりハバロフスク地方への追加投資が促進される

「ハバロフスク地方ワニノ地区に自由港体制が適用されることで2600人の追加雇用が創出され、400億ルーブル以上の投資誘致が可能となります」と地方政府広報課が報じた。現在、地区領内では既に幾つかの投資プロジェクトが実現中であり、その一つとして「サハトランス」社のターミナル建設がある。<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/news.asp?id=738998&sec=1671>

# 極東発展を目指す新しい措置：成功の実例

2016年7月1日、www.interfax-russia.ru

## ヤクートがサナトリウム・保養地コンプレックス創設プロジェクトをEEFに提示する

ヤクート政府はメギノ・カンガラスキー地区の共和国サナトリウム・保養地コンプレックス「アバラフ」創設用の投資家を見つけ出すことを予見している。「アバラフ」プロジェクトとは既存のサナトリウム「ソスノフカ」回復医学・リハビリテーション医療センターをベースにした現代的なサナトリウム・保養地コンプレックスの創設である。

プロジェクトでは120名用の治療・リハビリテーション棟、ベット数60のサナトリウム・保養棟、給食棟及び他のインフラストラクチャーから成るコンプレックスの建設が予定される。<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/news.asp?id=740642&sec=1671>

2016年6月29日、リアノーボスチ通信

## インド投資家がプリモーリエの「ミハイロフスキー」優先発展区域に関心を示した

「貴国の法律は私達にとって非常に興味あるもので、新しい可能性を与えるものです。私達は優先的方面として農業に細心の注意が払われている『ミハイロフスキー』優先発展区域を考えています。インド投資家達がこの優先発展区域の発展に関心を示しています」とインド共和国全権大使パンカジ・サランが表明した。<http://ria.ru/economy/20160629/1454006798.html#ixzz4D8oa5fcu>

2016年6月29日、www.interfax-russia.ru

### 「ベリンゴフスキー」優先発展区域の駐留企業がチュコトに年間処理量3万5千m<sup>3</sup>の固体生活ごみ新処理地を建設へ

「アナディル輸送会社」がチュコトに年間処理量3万5千m<sup>3</sup>の固体生活ごみ新処理地を建設する意向で、その投資総額は2400万ルーブル以上となる。然るべき協定がウラジオストク自由港プロジェクト及び極東優先発展区域の管理会社である（株）極東発展公団及び「アナディル輸送会社」間で水曜日に調印された。

また極東発展公団は「アクス」社とアナディル市地区浄水場近代化協定に調印したが、会社はこのプロジェクトに2700万ルーブル以上を投資する計画である。近代化の完了後には飲料水浄水プロセスは自動化体制に移行する。

両プロジェクトは「ベリンゴフスキー」優先発展区域枠で実現される。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/news.asp?id=739774&sec=1671>

2016年6月28日、www.ysia.ru

### レナ川横断橋を6年間で建設する計画

ロシア・中国政府間委員会会議で調印された総括会議録ではレナ川横断橋が6年間で、又はより早期に建設されることが言明された。

「2014年に既に我々は中国代表と交渉を行いました。ヤクート政府により調整・書類作成の大作業が行われました。他の方面での協力も発展させています」とヤクート投資発展局のアレクセイ・ザゴレンコ所長が指摘した。

以前、エゴール・ボリーソフ・サハ（ヤクート）共和国長が北京でのロシア・中国政府間投資協力委員会の第三会議に参加することを決定した。イーゴリ・シュワロフ・ロシア第一副首相及び張高麗国務院副総理の議長下で行われた会議では総額約900億米ドルの66件の協同投資プロジェクトが検討され、総括プロトコルに編入されたが、その中にはヤクート共和国で実現計画される3件のプロジェクトがある。

<http://ysia.ru/glavnoe/most-cherез-lenu-planiruyut-postroit-v-techenie-shesti-let/>